



豊玉二中だより

令和4年度 第9号
発行日 11月9日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

思いやりを忘れずに

校長 神山 信次郎

校庭の木々も紅葉し始めるこの頃、10月8日(土)開校60周年記念式典、そして、10月29日(土)には開校60周年記念文化発表会が終了しました。開校60周年記念式典では厳かな雰囲気の中で、素晴らしい姿勢で参加することができました。また、文化発表会では例年とは違った形式ではありましたが、素晴らしい合唱を響かせることができました。保護者・地域の皆様方も皆さんのひたむきに頑張る姿をほめておられました。

さて、気が付くと季節は11月、残り5か月になりました。合唱コンクールが終わった今は、勉強、運動、趣味に取り組む最適な季節といえるのではないのでしょうか。そして、11月はふれあい月間です。いじめや暴力などの問題を未然に防止し、全ての生徒が安心して学校生活を送ることができるように取組を行う月間となります。

皆さんは孔子(こうし)という人物を知っていますか?今から2,500年ほど前の中国の思想家です。孔子の言行などを収録した『論語』という書物の中に、次のような記録が記されています。「孔子の弟子が『人間関係の中で一番大切なことを一言でいうと何ですか。』と尋ねたところ、孔子は『それは思いやりである。』と答えたそうです。しかし、その弟子はその言葉に納得せず、『思いやりと言われても具体的にはどうすることなのでしょう。』と再度尋ねたところ、『己の欲せざるところ、人に施すことなかれ。』と言った」ということが記されています。

つまり、「自分のしてほしくないことは、人にしてはいけない」という意味です。この世の中、人間関係の中で一番大切なのは、思いやりであり、思いやりのある行動とは、突き詰めていけば「自分の嫌なことは他人にしない」ということです。孔子の一言が現在も生きています。いきているばかりか、ますます大切になってきていると私は感じます。

今の世の中学生に限らず、大人の社会でも「いじめ」等が原因で様々な問題が生じています。昨年度の調査でもいじめの数が例年より増えている結果がでています。大変難しいことですが、世界の人々が「自分がされて嫌なことは、人にしない」という気持ちで生活できれば、住みやすい世の中になると思います。

皆さんはどう思いますか?きっと皆さんは相手を思うやさしい気持ちにあふれているはずです。これからも一人一人がいじめのない楽しい学校生活を送れるよう考えて行動していきましょう。

